

教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行
2014年2月発行 第9号

教育臨床心理実践センター公開講演会「非行少年への対応と少年鑑別所」報告

平成26年2月20日(木)15時～17時に、京都教育大学 大学会館2階 教育臨床実習室において、中嶋英治先生(大阪少年鑑別所)をお招きし、少年鑑別所における実践についての理解を深めました。中嶋先生は、心理技官として昭和62年大阪少年鑑別所からスタートされ、これまで全国で活動を展開されてこられました。今回は、少年鑑別所での非行少年への対応の実際について、1少年司法手続と少年鑑別所、2鑑別の手続きと所内における処遇、3鑑別の視点、4少年非行の動向、について、基本的な用語の定義や写真等の資料等をもとに、とても分かりやすく丁寧にご説明くださいました。そもそも「鑑別」とはなんなのでしょうか。これは、「非行原因の解明」「健全化に向けた処遇指針の立案」のことをいいます。このことを通じて、少年に自分と向き合う体験をさせながら科学的・客観的視点から少年を理解していきます。このとき、子どもが素を出せる、安心できる雰囲気をつくっていくことがなにより重要です。自然と子どもがしゃべってくれるような状況づくりがたいへん重要です。では、あいのままの少年と向かうために重要なことはなんなのでしょうか。ここには、落ち着いた生活環境と職員との信頼関係です。ここに、あいのままの少年が立ち現れます。このとき、職員との信頼関係とは、適当にあしらわない、巻き込まれない、考えを押し付けない、揺るがない、悪いことばかりにとらわれないことです。

鑑別所での実際について、少年の生活について、具体的なエピソードをもとに、お話くださいました。その他、心理検査、行動観察、面接、社会調査等について、その歴史や留意点についても学びました。現場の実際をもとに、非行理解の手順について専門的かつ幅広い観点から貴重なお話をたくさんうかがうことができました。



教育臨床心理実践センター改築に伴う「心理教育相談室」の引っ越し(戻り)について

1. 概要

- ① 平成25年9月26日～平成26年3月下旬までは、大学会館3階に「心理教育相談室」を仮移転

しています。

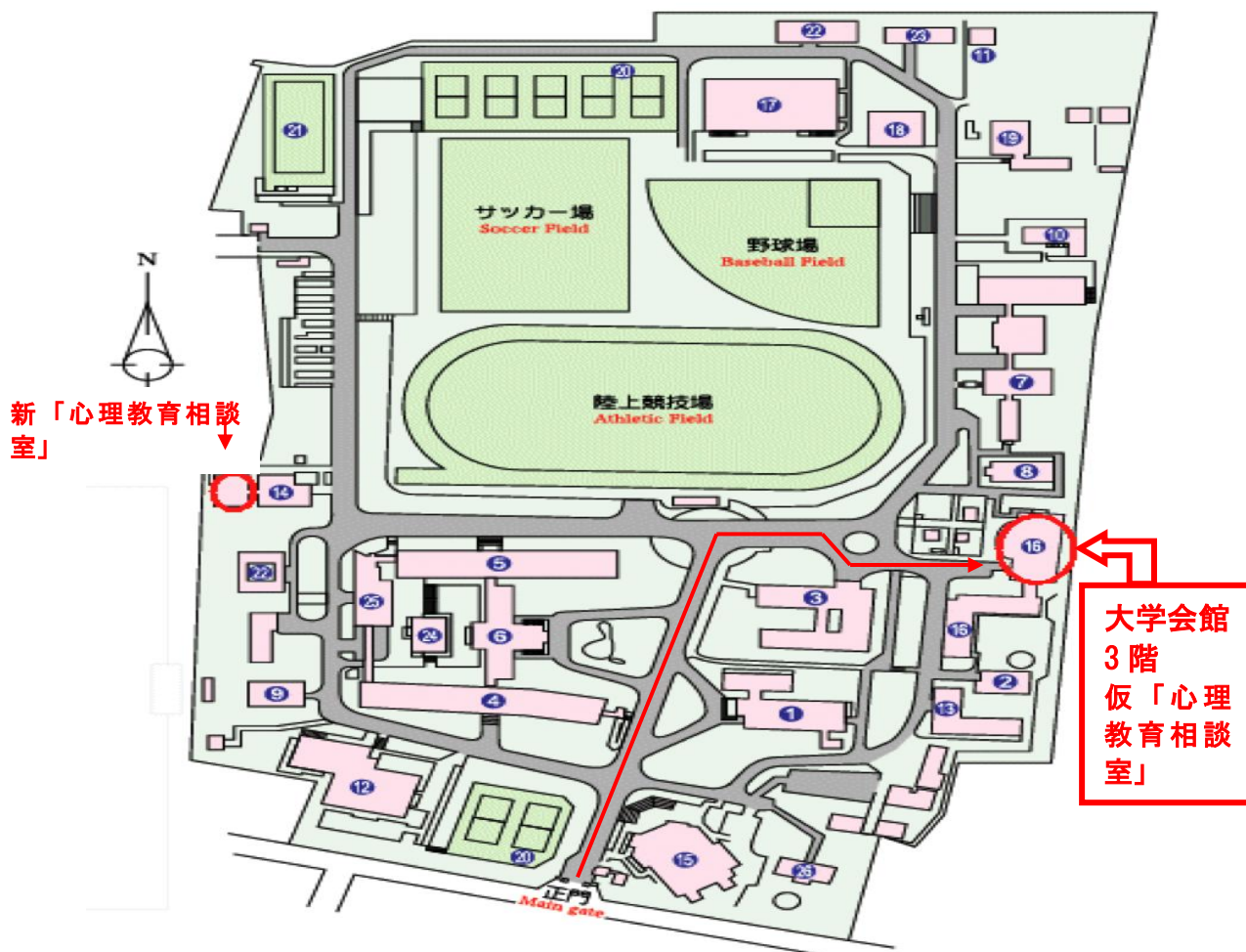
② 平成 26 年 3 月下旬に引っ越し（戻り）を行い，元の場所で活動を再開します。

③ 引っ越し（戻り）に伴い，下記のように 3 月下旬に「心理教育相談室」を一時閉室します。引っ越し（戻り）の進捗状況によっては，閉室期間は変更になる場合があります。

2. 仮移転及び引っ越しの流れ

平成 25 年 9 月			平成 26 年 3 月					
17 日 (火)	18 日 (水)	25 日 (水)	26 日 (木)	23 日 (日)	24 日 (月)	31 日 (月)	4 月 1 日～ (火)	
←		←		←		←		
「心理教育 相談室」での 通常の活動		引っ越し作業に 伴う閉室		大学会館 3 階仮「心理 教育相談室」で活動		引っ越し作業に 伴う閉室		元の場所に戻り、 新「心理教育相談 室」として活動

3. 「心理教育相談室」の地図



心理教育相談室について

個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。075-644-8824(月曜～金曜、午前 10 時～午後 4 時)

教育臨床心理実践センター・スタッフ

専任教員(センター長) 教授 本間友巳 准教授 花田里欧子
兼任教員 教授 森孝宏 教授 内田利広 准教授 小松貴弘 講師 西村佐彩子
権限職員 岩瀬圭代子(月曜) 荒井久美子(火・金曜) 金子真理子(水曜) 西山智栄子(木曜)